



オメガ東京  
2021.12.8.omega-12.com



ムシラセの公開時上装

保坂萌

登場人物

「つやつやのやつ」

吉光 芸人・「ぶるぶるタブレット」のポケ担当

津田 芸人・「ぶるぶるタブレット」のツツコミ担当

安楽亭おすし 二世のタレント落語家

カブキ姐さん 一発屋芸人。現在は下火

ちあき 通夜に来た女の子、吉光の元彼女

ウイスパー高木 売れないピン芸人。オフの時もしゃべらない

「ファンファンファンファーレ!」

チカ 出待ちの女の子。ミームのハル推し

ゆかり 出待ちの女の子。とてもギャル。ぶるぶる津田推し

サツキ

出待ちの女の子。ミームのリョウジ・ぷるタブ津田推し

山口

劇場スタッフ。出待ちが嫌い

きぬ

変な格好の女子高生。芸人志望

朝海

きぬのお友達の女子高生。とても賢い

サツキの声 「こんにちは。今日は、ムシラセ『つやつやのやつ』と『ファンファンファンファーレ!』

にお越しくださいます。誠にありがとうございます。開演に先立ちまして、いくつかお願いがございます。マスクは鼻の上まで着用してください。蓋つきの飲み物はのんでも大丈夫です。飲み物をのんでいるときは、おしゃべりしないように注意してくださいね。携帯電話、アラームつきの時計は電源から切ってくださいね。接触確認アプリココアを使っている方は、機内モードにしてくださいね。みんなで楽しくみたいから、音が鳴らないようにしてくださいね。とっっても嬉しいです! あ、楽しいといえども、あたしはお笑い芸人が大好きなだけで、みんなは誰推し? あたしはぶるぶるタブレットとミームっていうコンビが大好きなんだ。特にぶるぶるタブの津田くんは激推し! 劇場出番があるときは、仲良しの三人組で出待ちするんだよね。今日もその子たちと楽屋口で待ち合わせしているんですけど、電車が遅れていて、なかなかつきません。いやー悪いねえ、ごめんなさいね」

舞台上にチカ。

ザ・出待ちの女といった出立ち。

スピーカーで会話をしている。

チカ 「で、いつ着くの?」

サツキ 「もうね、向かってるから」

チカ 「…まだ家でしょ。なんなら髪巻いてるでしょ」

サツキ 「えー、なんでわかったの」

チカ 「テレビの音聞こえる」

サツキ 「あはは、とつても名探偵」

チカ 「いつつもじゃん。今日はとつても大事な日なんですけど」

サツキ 「わかってます、ミームの単独ライブだもんね」

チカ 「ゲストぶるタブなんだからさ、そっちももうちょっと気合入れてくれない？」

サツキ 「津田くんはね、入り待ちをとつても嫌がるんですよ。芸をみてもいないおまえと特段喋ること

はありませんと。まあ出待ちもほぼ喋ってはくれないけどね。だから問題はない」

チカ 「そんな冷たいの、何がいいの？」

サツキ 「えっかっこいいじゃーん」

チカ 「ハルクんのがかっこいいもん」

サツキ 「そうね、ハルクんもいいよね。でもミームならリョウジくんかな、ハルクんは津田くんと仲

良しなところがマジで尊いよね」

チカ 「それは別にどつちでもいい」

サツキ 「なあーんだよおーチカちゃんよー！ あ、ゆかりちゃんは？」

チカ 「既読つかない、絶対寝てる」

サツキ 「すみませんね我々津田推しはいつもいつも」

チカ 「行けたら行くっていうけど、あんたたち来たことないじゃん」

サツキ 「始まる前にはいくから」

チカ 「えー？暇なんだけど！ ライブ始まるまであと5時間あるんだよ」

サツキ 「チカちゃんさ、満を辞して言うけど、チカちゃんの待ち合わせ時間はスタッフさんの入り時間なんだよ。悪いけど行けたら行けないだよ、起きて向かってるフリするだけでも褒めて欲しいよ」

チカ 「だって、ライブ前に今日も頑張ってるって伝えたいし、いつくるかわかんないし」

サツキ 「いやあ、愛だねえ、まぶしいねえ」

チカ 「普通だから。ミーム今めっちゃ忙しいからね、レギュラーは十五本超えたんだよ？なのに毎週配信もしてくれるしさあ、ホスピタリティやばない？ そんないそがしさの中、今日の単独オール新ネタですからね？ ネタおろしですからね？ いつやってるの稽古、寝てないとか思えない、だからあたしは5時間前でも待つし、絶対頑張ってるって伝えるし、マナーがクソな出待ち女を制して現場の秩序を保つよ。それに比べて君たちはさ、いっぱい寝てるくせに、現場来ないとか、推しへの愛が足りないんじゃないのー？」

サツキ 「あれ、ミームとハルくんなんかトレンド入りしてるんだけど」

チカ 「え、まじで！」

サツキ 「え、なんだろ、単独前に結婚とか？」

チカ 「え、ちよちよちよやめて、やだやだ、まじで結婚とかいわれたらショックだけど絶対に祝福するけどショックなんだけどどうしよー死ぬー！」

サツキ 「まってまってまって、あたしもいま見るから」

サツキ、通話から離れる音。

チカ 「大丈夫、大丈夫、もしかしたら冠番組かもしれないから、落ち着け落ち着け、大丈夫！」

チカ、スマホの画面をスクロールする。

指が止まる。

しばし間。

チカ 「…死んだ」

サツキからの返事はない。

チカ 「ねえ、ハルくんが……死んじゃったんだけど」

音楽盛り上がりつつ暗転。

『つやつやのやつ』

通夜会場の喫煙所。

喪服の吉光がタバコを吸おうとしているが、ライターがない。

吉光、ポケットの中を全部出してライターをさがすが、やはりない。

そこに同じく喪服の津田。

津田 「みっちゃんみっちゃん」

吉光 「…なに」

津田 「あっちにグラビアアイドルがいた」

吉光 「あっそう」

津田 「ほら、グラビアやってるー女のおんなーあのーほらー女のおんな！」

吉光 「誰なんだよ」

津田 「名前がねー、出てこないんだよ、うわーモヤモヤする。ちよつと一緒に見にいこうよ」

吉光 「やだよ、みつともねえ」

津田 「別にいいじゃん、見に行くくらい」

吉光 「グラビアアイドル見たくらいで、その辺の素人みたいにはしやぐなよ、ダセえ」

津田 「別にはしやいではないよ」



吉光 「俺らだってプロなんだからさ、誇りを持ってよ。そういうところなんだよ、いまいち伸び切らないのは」

津田 「僕たちが売れないのとグラビアアイドルは関係ないよ、単純に人気がないだけ」

吉光 「誰のせいだと思ってんだよ」

津田 「で、話ってなに？」

吉光 「：ライター持ってない？」

津田 「持ってるわけないじゃん」

吉光 「あっそう」

津田 「チャツカマンあったよ、お焼香のそこ」

吉光 「借りれねえよ、そんなところにあるもん」

津田 「話ってそれ？」

吉光 「そんなわけねえじゃん」

津田 「あー、この子だ」

吉光 「え、誰」

津田 「興味ないんでしょ」

吉光 「ねーけど」

津田 「すごいよね、お通夜にあんな芸能人いるってテレビでしか見たことないもん」

吉光 「(アイドルがいる方向をじっとみている)」

津田 「なんか、現実感ないよね」

吉光、なんの気無しに立ち上がる。

津田 「どこ行くの」

吉光 「ライター買ってくる」

津田 「逆ですよ、コンビニはあっち」

吉光 「誰かに借り」

津田 「借りれないよ、あっち師匠ばっかだもん」

吉光 「…んー」

津田 「見たくないんだよね？」

吉光 「みたくはない」

津田 「じゃあコンビニ行ってきなよ」

吉光 「…んー」

津田 「みたくないんだよね」

吉光 「みたくない」

間。

津田 「みたくないんだよね？」

吉光 「みたくな〜し！」

津田 「(置いてあるタバコに目をやり) やめればタバコ。死ぬし」

吉光 「うるせえ」

津田 「全然禁煙できないじゃん。死ぬのに」

吉光 「うるせえ」

津田 「自分で言ったのに禁煙するーって」

吉光 「うるせえって」

津田 「じゃあネタ合わせしよっか」

吉光 「え？」

津田 「明日三回戦だし」

吉光 「お通夜真っ最中だぞ」

津田 「そうだけど賞レースは待ってくれませんかからね、悲しい気持ちをぐっと堪えて笑いに変えて

いきましよう」

吉光 「やんないよ」

津田 「ハイどうもーぷるぷるタブレットです〜」

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

『つやつやのやつ』と『ファンファンファンファーレ!』 (おためしサンプル)

---

2021年12月14日 初版発行  
2021年12月14日 改訂 (ver.1.002)

著 者 保坂萌 © 2021年  
発行者 石村寛之  
発行所 有限会社レトロインク  
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7  
電話 0422-24-9529

---